



社会のニーズに対応した 効果的な安全訴求の拡大

活動テーマ

事故を起こさない
運転の習慣化と
技術向上

2009年の主な活動 運転者

4月 ●タイのバンコクに交通教育センターを開設
●「エコドライブ&セーフティガイド」発行

5月 ●Hondaセーフティナビ発売

6月 ●三重県鈴鹿サーキットにて「第9回全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会」を開催
●神奈川県での安全健康快適フェア2009にドライビングシミュレーター、Honda自転車シミュレーター、Hondaセーフティナビを出展

7月 ●沖縄県にて「Honda交通安全企業セミナー」を開催

8月 ●埼玉県にて「09トラフィック・セーフティ・フォーラム in 埼玉」を開催

9月 ●熊本県でのホンダドリーム合同ツーリングにて「親子でバイクを楽しむ会」を開催、HondaライディングトレーナーとHondaセーフティナビ体験を実施
●スペインのバルセロナに交通教育センター開設

10月 ●Enjoy Honda SUZUKAで「交通エコロジー教室」を開催、HondaセーフティナビとHonda自転車シミュレーターを出展
●熊本県にて「09トラフィックセーフティセミナー in 熊本」を開催
●三重県にて「09トラフィック・セーフティ・フォーラム in 鈴鹿」を開催
●沖縄県の自動車学校にHonda自転車シミュレーターとHondaセーフティナビを貸出協力、二輪車実技研修の指導者育成に協力

Hondaは、安全運転普及活動の原点でもある運転者に向けた「参加体験型実践教育」、人から人への「手渡しの安全」を活動の原則として「人」に焦点をあてた活動を積極的に展開しています。それらを実践するための「場」と「機会」を提供するとともに、さらに、より危険を安全に体験するためのソフト開発も重要と考え、取り組んでいます。

体験を通じて安全を手渡す「交通教育センター」

参加体験型の実践教育の場として、交通教育センターがあります。現在、全国8カ所で社内外の指導者育成や、企業、学校、個人のお客様を中心に安全運転教育を行っています。今年は約9万人(10月末現在)の方にご利用いただきました。

個人のお客様向けには、Hondaモーターサイクリスト・スクール(二輪)やHondaドライビング・スクール(四輪)を開催。受講者のスキルやニーズに合わせて、楽しく安全を学べるさまざまなプログラムを展開しています。

企業向けには、業務内容や運転者のキャリアに合わせた教育プログラムを、オーダーメイドでご提供しています。運転経験の少ない新入社員が増えていることもあり、新入社員向け安全運転教育を充実させる企業も多くなっています。また、実際の交通状況に近い映像を見て、注意力や危険予測力を高めることができる「動画KYT(危険予測トレーニング)」による座学も企業の注目を集めているプログラムです。



安全運転とエコドライブを合わせて学べる「セーフティ・エコドライブ研修」のニーズは高い(鈴鹿サーキット交通教育センター)



動画KYTを取り入れた研修(アクティブセーフティトレーニングパークもてぎ)



トラフィック・セーフティ・フォーラムでのセーフティナビ体験(交通教育センターレインボー埼玉)

昨年からは、環境に配慮した「エコドライブ」と「安全運転」の共通点に着目してプログラムに取り入れた「セーフティ・エコドライブ研修」が始まりました。

また、今年は全国5カ所で、交通教育センター主催による「トラフィック・セーフティ・フォーラム」を開催。企業が取り組んでいる安全活動の事例発表や有識者によるパネルディスカッションなど、企業や諸団体の交通安全推進担当者様の情報交換の場としてご活用いただき、550人以上の方にご参加いただきました。交通教育センターレインボー熊本では、新たに「安全な職場を目指すコミュニケーション・スキルアップ」をテーマに、対人関係スキルを磨くグループワークを実施。会場は大いに盛り上がりました。

ニーズに応え変化する「販売会社」

お客様に直接、製品と安全を手渡す活動の主体となっているのが四輪・二輪・汎用販売会社です。安全運転に関するHonda社内資格（セーフティコーディネーター^{※1}、チーフセーフティコーディネーター^{※2}、ライディングアドバイザー^{※3}、モンパル安全運転指導員^{※4}など）を取得したスタッフが、店頭やイベントで個別にアドバイスをを行っています。販売会社では、お客様

への定期的なアドバイスや、安全講習会などの店頭活動からイベントまで独自に活動しています。

今年は四輪販売会社のスタッフを対象に「エコドライブアドバイスポイント研修」を16法人289人（10月末現在）に対し実施しました。この研修で学んだことを店頭活動に取り入れ、安全アドバイスにエコドライブの視点を加えた「エコ&セーフティドライブ」を通じて、お客様との絆づくりを進めている四輪販売会社も増えています。例えば、Honda Cars東京中央では、お客様にお店の周辺を運転していただき、同乗したスタッフがその運転を見ながらアドバイスしています。

また、毎年春と秋の交通安全運動と連動し、オールHonda^{※5}で展開している「Hondaセーフティキャンペーン」でも、店頭でパンフレット「エコドライブ&セーフティガイド」や、のぼりによる訴求を行いました。今後もあらゆるニーズに応じた取り組みを行っていきます。

お客様イベントとドライビングスクールを融合させた「エンジョイモビリティワールド」を交通教育センターレインボー浜名湖で開催（Honda Cars静岡西）



車は急に止まれない！
（反応ブレーキとCMBS体験）



こんなに滑る！雪道体験
（低μ路でのスラローム体験）



販売会社スタッフへのエコドライブアドバイスポイント研修
（交通教育センターレインボー埼玉）

- ※1 お客様に店頭などで安全アドバイスができます。
- ※2 安全講習会の企画立案、開催の実施指導ができます。
- ※3 お客様に「二輪車の正しい取り扱い」や「安全な乗り方」を伝え、安全で楽しいモーターサイクルライフをサポートします。
- ※4 店頭やお客様のご自宅などで、モンパルの安全な乗り方や正しい取り扱いなどについてアドバイスをを行います。
- ※5 Hondaの全事業所・各部門、交通教育センター、四輪販売会社、二輪販売会社（Honda Dream）、汎用販売会社、ホンダ輸送グループ。



店頭でのエコ&セーフティドライブはお客様から好評
（Honda Cars神戸）



都市対抗野球ではヘルメットにシールを貼って
エコ&セーフティをアピール



2009年の主な活動 運転者

- 11月 ●静岡県にて「09トラフィック・セーフティ・フォーラム in 浜松」を開催
- 栃木県にて「安全運転指導セミナー」を開催
- 熊本県の大津からいもフェスティバルにて交通安全教室を実施
- 兵庫県の東播自動車教習所にて自転車シミュレーター指導者を育成
- 沖縄県での「Hondaエンジョイセーフティフェスティバル」にてHonda自転車シミュレーターとHondaセーフティナビ体験を実施、「ライディングスクール」を開催

2009年の主な活動 活動連携

- 6月 ●熊本県二輪車安全普及協会安全運転講習「グッドライダーミーティング」に指導協力
- 二輪車安全運転推進委員会特別指導員研修会へ協力
- 7月 ●沖縄県二輪車安全普及協会安全運転講習「グッドライダーミーティング」に指導協力
- 8月 ●三重県の鈴鹿サーキットにて「第42回二輪車安全運転全国大会」を開催、審判派遣協力
- 9月 ●熊本県二輪車安全運転推進委員会指導員研修会に指導協力
- 10月 ●警察庁「第41回全国白バイ安全運転競技大会」審判派遣協力
- 二輪車安全運転推進委員会特別指導員養成講習会および審査に指導協力(～11月)

地域との連携強化

企業の交通安全推進担当者様の交流と指導力向上の場として、今年は7月に沖縄県警察などのご協力のもと、「Honda交通安全企業セミナー ～安心経営のための社内交通安全活動」を開催しました。セミナーには63人の方にご参加いただき、座学と実技体験を実施。座学では、企業の交通事故削減の事例を紹介し、動画KYTを使った危険予測トレーニングを行いました。また実技体験では、地区普及ブロックのインストラクターがエコドライブに必要な運転操作を説明し、その後参加者一人ひとりがHondaのハイブリッドカー「インサイト」を運転し、エコドライブを実践していただきました。

さらに沖縄県での活動として、11月に県や県警察、教育委員会などのご協力のもと、「Hondaエンジョイセーフティフェスティバル」を開催しました。プログラムの一つであるセーフティライディングスクールでは、参加した一般ライダー、企業ライダーに実技を通して、安全運転のポイントをアドバイス。指導はHondaのインストラクターだけでなく、連携先である地元の教習所指導員の皆様にもご協力いただきました。

このように、参加体験型の実践教育の場を提供させていただくことで、地域の方々に安全運転意識を高めていただくと同時に、地域の指導者が主体となった活動のきっかけづくりをしていきたいと考えています。



沖縄での企業セミナーではHondaの活動も紹介(熊本普及ブロック)



沖縄での「Hondaエンジョイセーフティフェスティバル」で実施したセーフティライディングスクールに参加する日本郵便のライダー(熊本普及ブロック)



沖縄での「Hondaエンジョイセーフティフェスティバル」にてコースイン前に説明を受ける一般ライダー(熊本普及ブロック)

関係諸団体との連携を強化し 交通事故の削減に努める

「交通事故のない社会」をめざして日々活動をされている関係諸団体の方々とも、積極的に連携しながら活動の拡大に取り組んでいます。また、社会のニーズに合わせた情報提供にも取り組んでいます。

交通安全の関係諸団体や業界との連携

全国の自動車教習所指導員の皆様の自己研鑽への動機付けや交流の場をご提供することを目的として、2001年より「全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会」を鈴鹿サーキット交通教育センターで開催しています。今年も6月に開催し、75校179人の教習指導員の皆様にご参加いただきました。

また、(社)日本自動車工業会の一員として「春と秋の全国交通安全運動」や国土交通省主催「ハイブリッド車等の静音性に関する対策検討委員会」などの活動に積極的に協力しました。

二輪車では、(社)全国二輪車安全普及協会が展開する参加体験型の安全講習会「グッドライダーミーティング」の機会拡大や、(財)全日本交通安全協会二輪車安全運転推進委員会が展開する活動に協力し、指導員研修での指導や各種競技大会などの審判で参画しています。

さらに役立つ情報提供をめざして

交通安全活動を広く全国に普及していくために、どなたにもわかりやすく、気軽に交通安全に接することができる、さまざまなツールを発行しています。今年も、エコドライブに対する社会的なニーズに応え、エコドライブと安全運転のコツをわかりやすくお伝えするためのパンフレット「エコドライブ&セーフティガイド」を、新たに発行。販売会社店頭などでお客様に配布しました。

また、1971年より発行してきたHondaの交通安全情報紙「Sj(セーフティジャパン)」を、4月より大幅にリニューアルしました。交通安全の教材として活用できる機能の強化と、各地域での取り組み・指導方法を紹介する記事を充実させました。

これまで四輪販売会社向けに発行してきた「SAFETY4」についても、ハード・ソフトの両面から「Honda Carsとお客をつなぐ四輪総合安全情報誌」として、Hondaの安全情報を幅広く取り上げる内容となりました。この他、二輪・汎用販売会社にもお客様への店頭安全アドバイスに役立つ「SAFETY2」「SAFETY MONPAL」を発行しています。今後も、さまざまな方にさらに役立つ情報の提供をめざしてまいります。



第9回全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会での四輪競技



リニューアルした「Sj」紙面



「Sj」のwebサイトもリニューアルし教材もダウンロードできる



第9回全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会での二輪競技



「エコドライブ&セーフティガイド」



「SAFETY4」



「Honda交通安全かるた」は親子で遊びながら交通ルールやマナーを学べる